

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月19日

日本ヒューム株式会社
東京証券取引所
証券コード：5262

1. 会社概要・事業内容
2. 2019年3月期第2四半期業績説明
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

会社名	日本ヒューム株式会社
設立	大正14年(1925年)10月20日
本社	東京都港区新橋5丁目33番地11号
代表者名	大川内 稔
資本金	52億5,140万円(平成30年9月現在)
従業員数	694名(平成30年9月現在)
営業品目	<ul style="list-style-type: none">・コンクリート二次製品の製造、販売・工事(杭、下水道関係)・不動産

総合コンクリート、主義

ヒューム管
(コンクリート管)

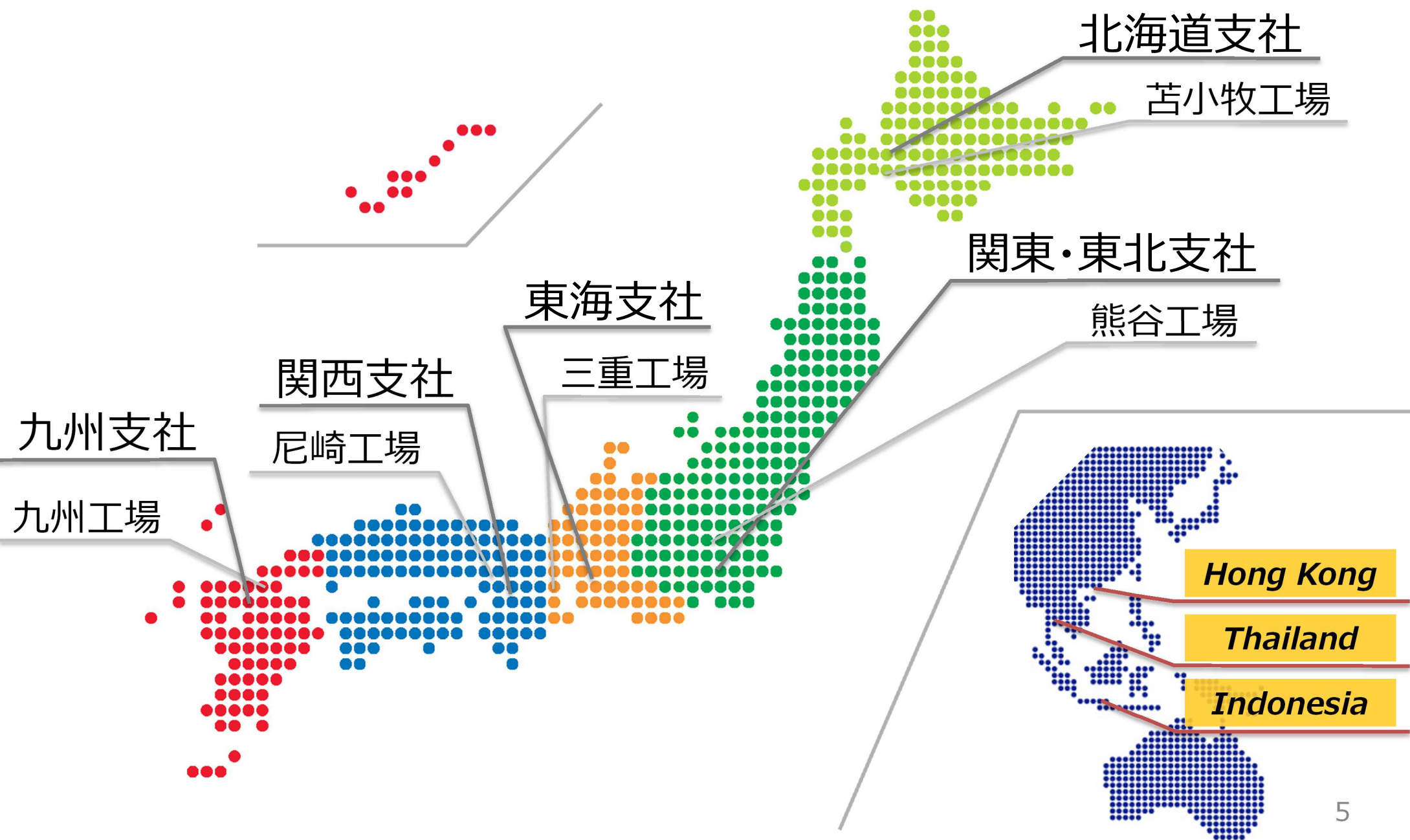
パイル
(コンクリート基礎くい)

プレキャスト
(工場製コンクリート製品)

事業全体図



営業・製造拠点



1. 会社概要・事業内容
- 2. 2019年3月期第2四半期業績説明**
3. 2019年3月期業績予想
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

連結業績ハイライト

- コンクリート製品事業の堅調な推移で売上高増加
- プレキャスト製品の事業展開に向け、RCセグメントで開発した継手の実施工採用

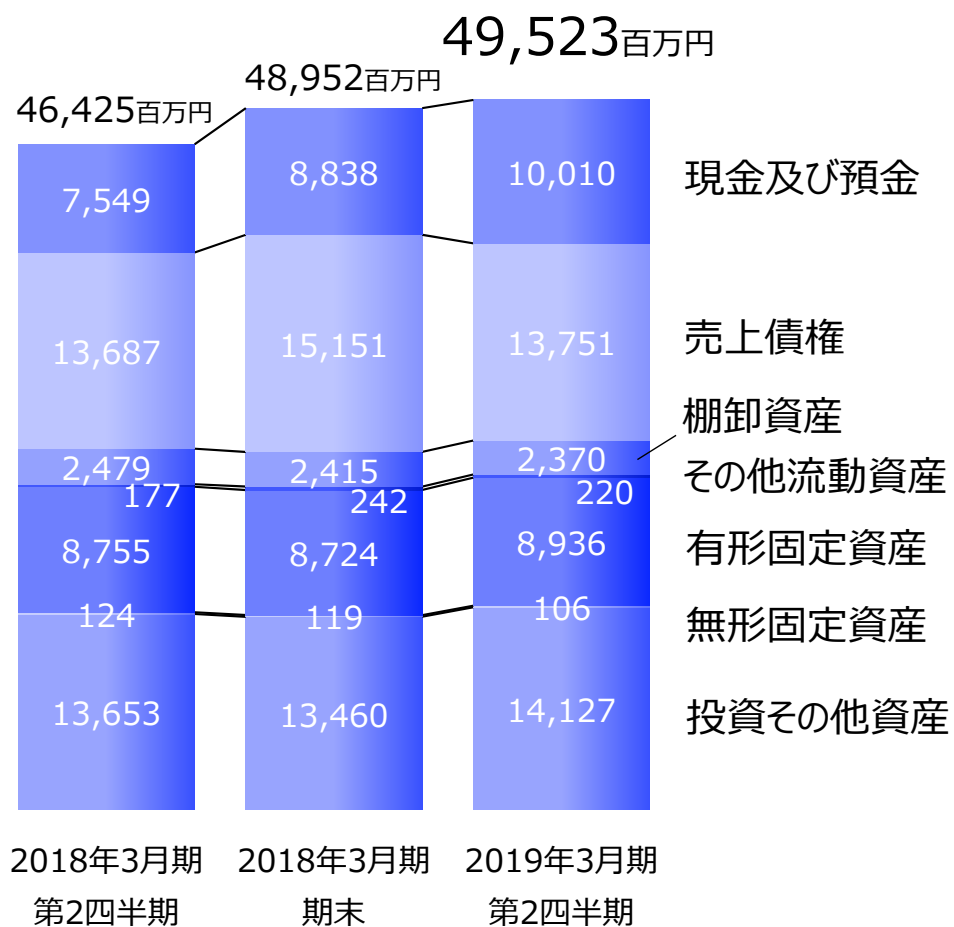
(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率	期初予想
売上高	17,750	19,802	2,051	11.6%	18,000
営業利益	709	701	▲7	▲1.1%	720
経常利益	1,117	1,441	324	29.1%	1,150
四半期純利益 ^(※)	860	1,269	408	47.5%	900

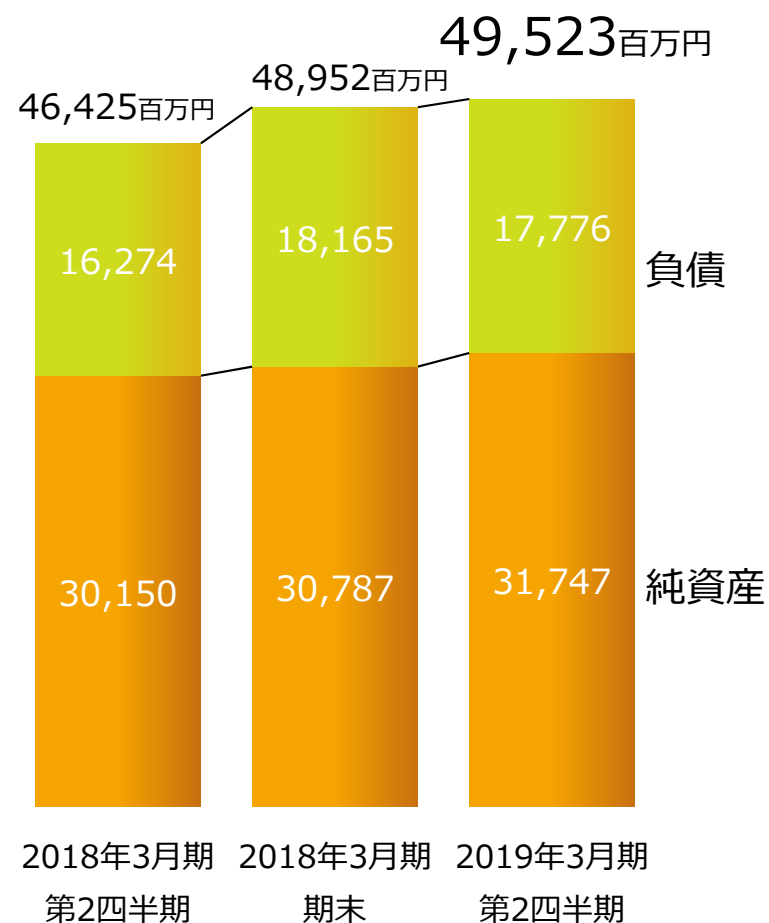
(※)親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表

資産



負債・純資産



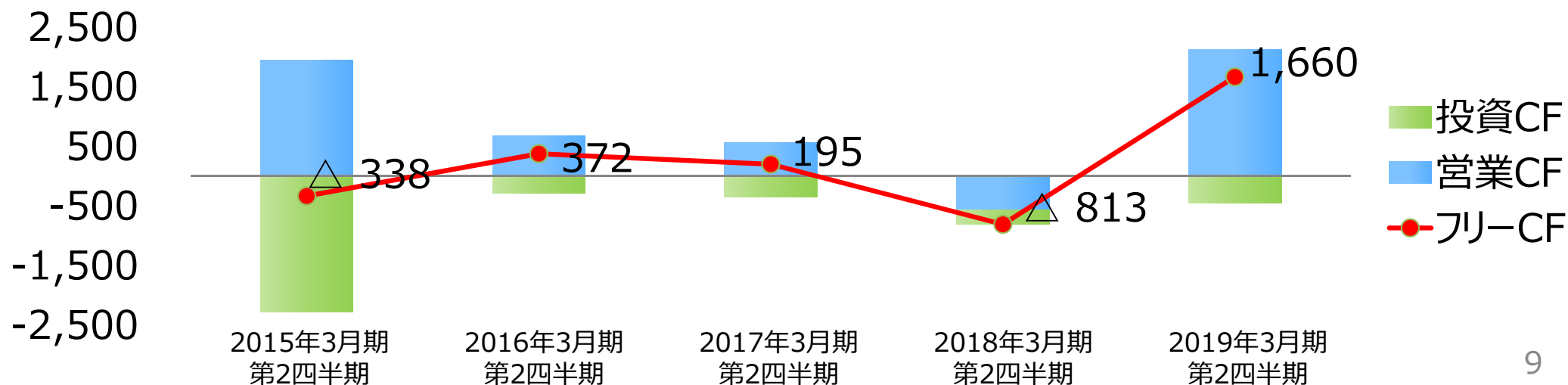
2019年3月期第2四半期業績説明



キャッシュ・フロー計算書

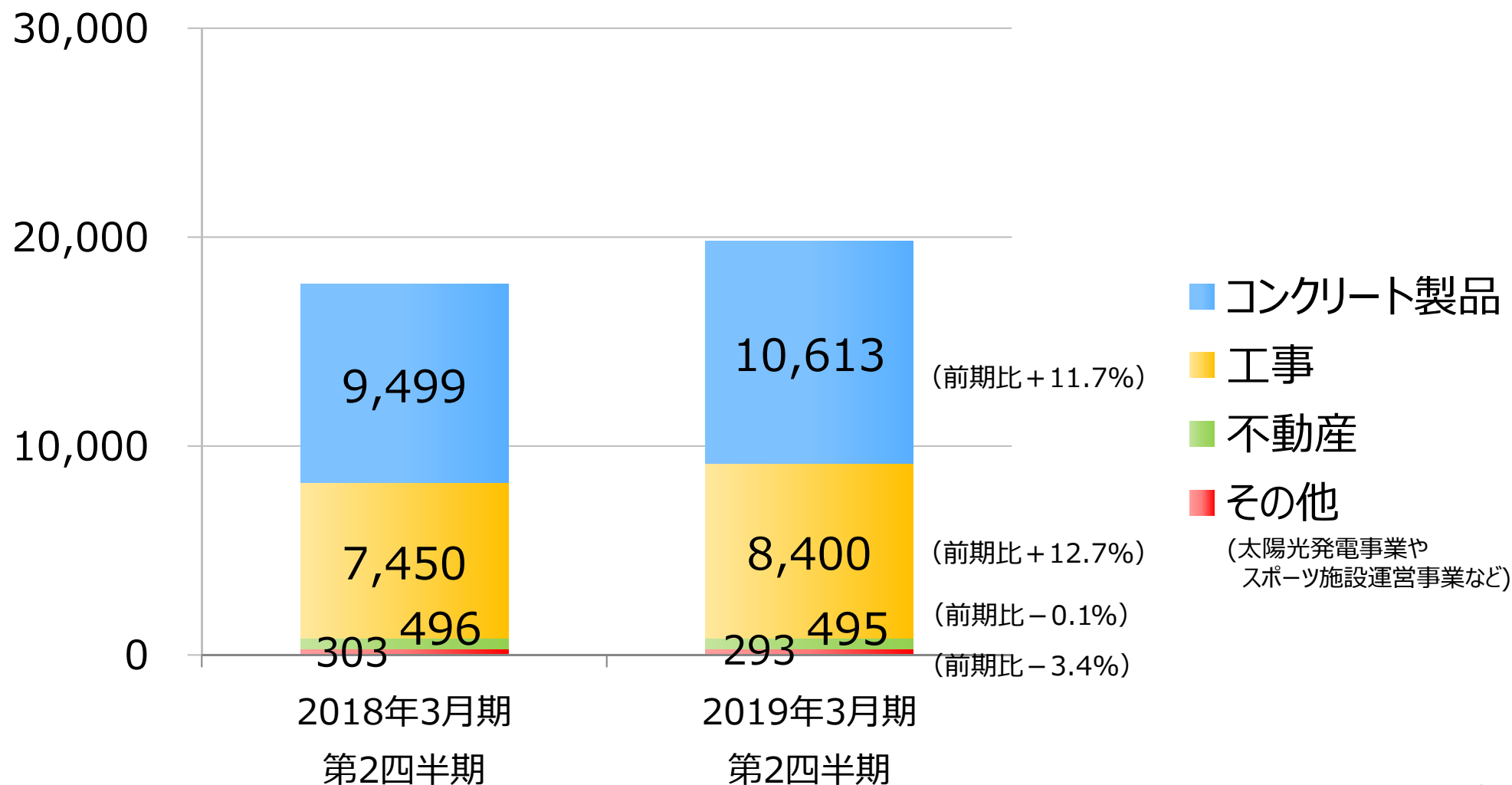
(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 573	2,116	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 239	▲ 456	▲ 216
フリーキャッシュ・フロー	▲ 813	1,660	2,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 533	▲ 454	78
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,488	9,969	2,481



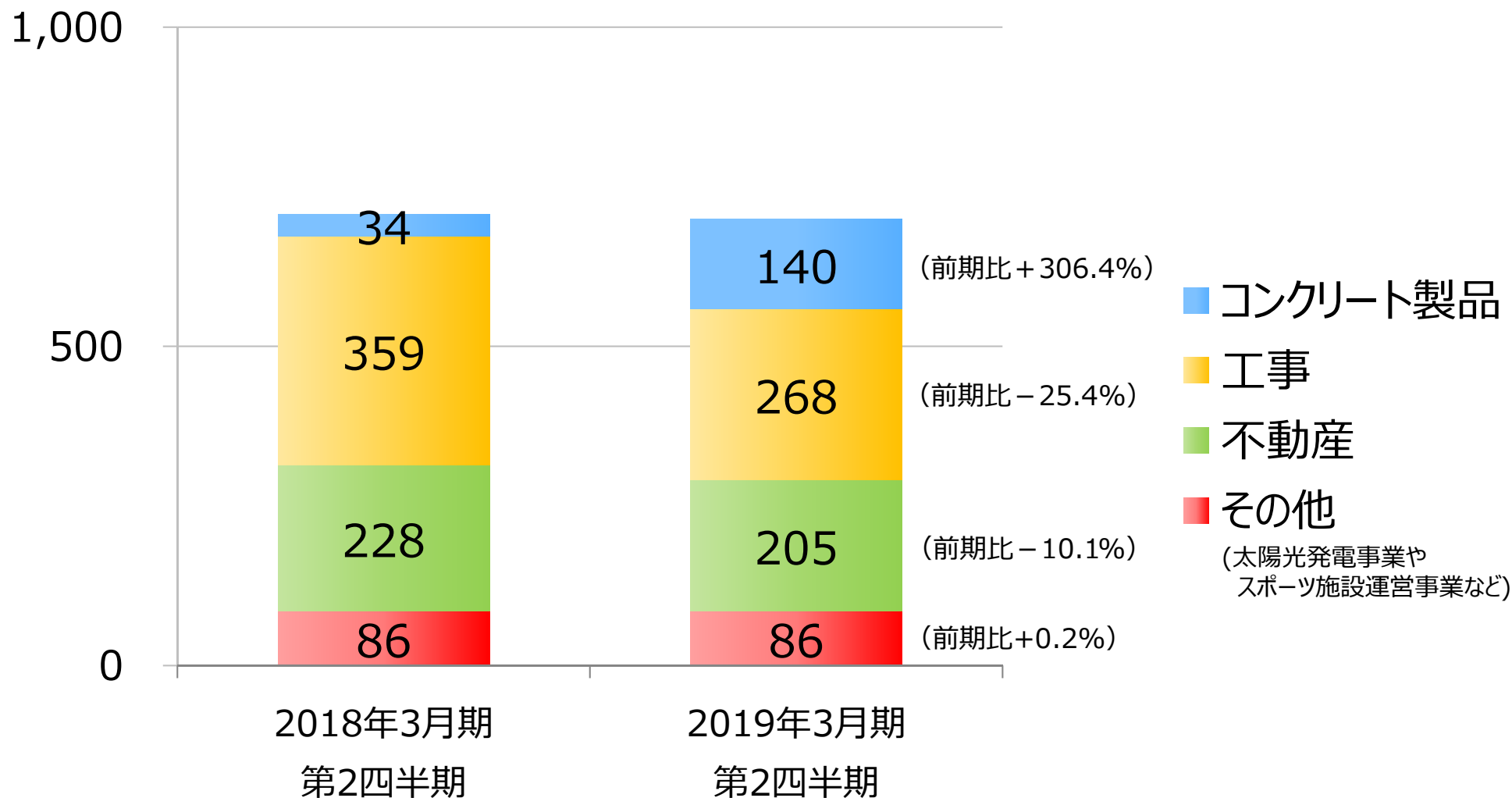
セグメント別売上高

(単位：百万円)



セグメント別営業利益

(単位：百万円)



1. 会社概要・事業内容
2. 2019年3月期第2四半期業績説明
- 3. 2019年3月期業績予想**
4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)

2019年3月期業績予想

業績見通し

- コンクリート製品事業を中心に堅調に推移すると見込む
- 防災関連の需要拡大に伴うヒューム管関連の高付加価値製品で成長を見込む

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	増減額	増減率
売上高	37,445	38,000	554	1.5%
営業利益	1,678	1,700	21	1.3%
経常利益	2,211	2,300	88	4.0%
当期純利益 ^(※)	1,651	1,700	48	2.9%

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1. 会社概要・事業内容
2. 2019年3月期第2四半期業績説明
3. 2019年3月期業績予想
- 4. 中期経営計画EAJⅡの状況
(企業価値向上への取組み)**

経営基盤強化戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 目標管理機能の強化					
事業部門と経営の連携強化				●	モニタリング機能強化 ⇒経営陣による四半期毎の目標管理
② リスク管理体制の強化					
リスクマネジメント委員会の設置、ガバナンス強化				●	リスク管理強化 ⇒社外取締役の増員
③ 現場力の強化					
OJTの実施、働き方改革の推進			●		人材育成、ワークライフバランス
④ 「見える化」による経営管理基盤の強化					
管理会計の強化				●	モニタリング機能強化 ⇒原価低減施策検討体制の強化
⑤ 計画的な人材育成、教育の強化					
系統的な教育の実施、メンター制度の導入			●		人材育成

★2019年3月期自己株式取得枠2億円を設定（2018年10月31日までに6,621万円分取得済）

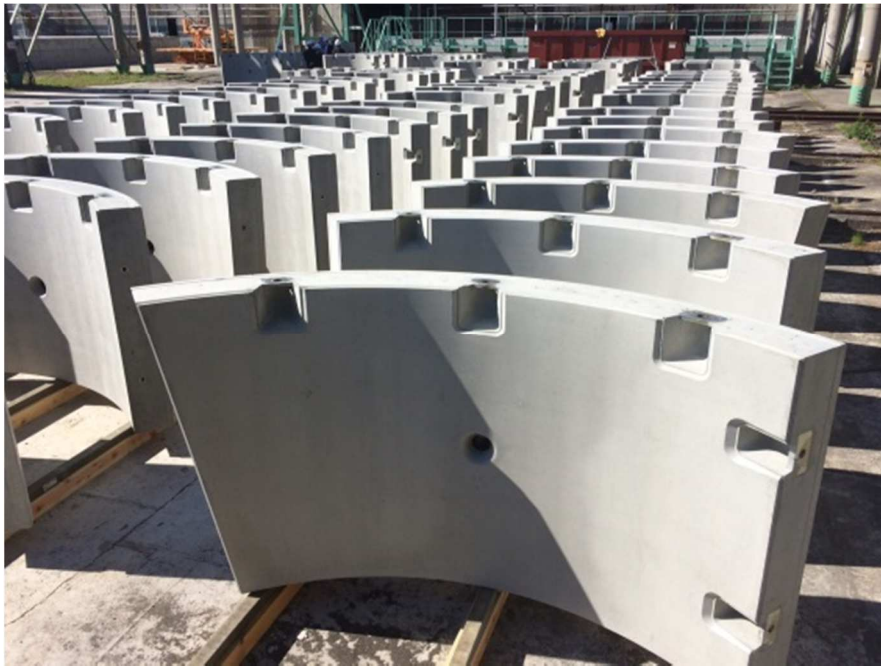
競争力向上戦略

中期経営計画		ESG経営			
基本戦略		E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 生産設備の戦略的な改善					
生産・施工現場における安全性の向上			●		労働環境の整備 ⇒パイル製造機の更新
② 調達、工事体制の戦略的な整備					
建設キャリアアップシステムの活用			●		労働環境の整備 ⇒建設キャリアアップシステムの登録
③ 次世代生産管理設備、工事管理設備の戦略的な取組み					
生産・施工現場におけるICT・IoTの導入			●		労働人口減少 ⇒施工管理装置の増設

グループ成長戦略

中期経営計画	ESG経営			
基本戦略	E	S	G	対処すべき課題と取組み
① 事業領域拡大への戦略的な取組み				
老朽化が進行する上下水道の整備・更新		●		都市インフラの更新 ⇒下水道管・マンホールの更新工事
再生利用可能エネルギー事業関連製品の提供	●			環境負荷軽減
② 注力事業への戦略的な取組み				
浸水対策・耐震・基礎事業の営業強化	●			大規模災害対策事業の推進 ⇒RCセグメント開発継手が実施工採用
道路・橋梁・鉄道事業でのソリューション提供		●		都市インフラの更新 ⇒プレキャスト製品の提案営業
建設現場生産性の向上に向けたプレキャスト製品の提供		●		労働人口減少 ⇒現場打ち物件のプレキャスト化提案
③ 次世代製品、工法開発の戦略的な取組み				
環境に配慮したコンクリート製品の開発・製造	●			環境負荷軽減
環境に配慮した施工法の開発	●			環境負荷軽減

- 浸水対策事業・高速道路更新事業を中心に、セグメントを始めとするプレキャスト製品の展開
- RCセグメントで開発した継手が実施工採用

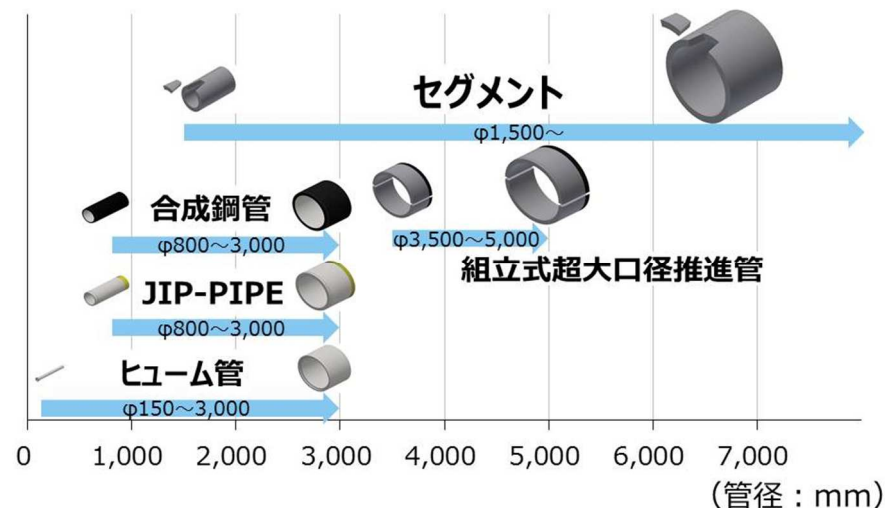


熊谷工場
セグメントヤードの状況



RCセグメント
新継手による水平仮組み状況

- 浸水対策事業では、現場に応じた製品選択で雨水貯留管などの製品提供
- 高速道路更新事業では、提案設計によるプレキャスト製品化の推進



浸水対策事業で使用される
当社製品群



高速道路のトンネル坑口における
プレキャスト製品化



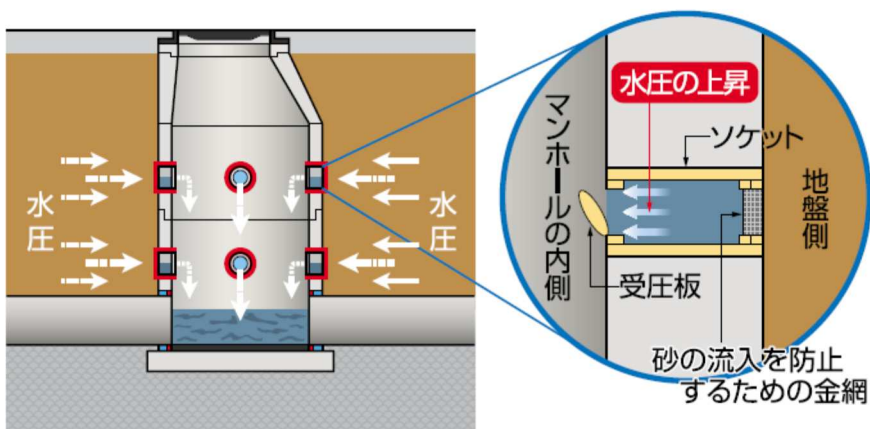
高速道路 避難用地下通路の
壁面プレキャスト製品化 19

➤ 国土強靱化計画・重要インフラの緊急点検による下水道施設耐震化の需要拡大

- ・マンホール浮上抑制（フオートレス工法（※））

※平成24年度土木学会 技術開発賞 受賞

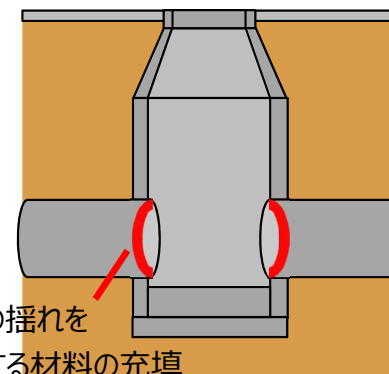
- ・既設下水道管耐震化（既設人孔耐震化工法）



地震で浮上したマンホール

マンホール浮上抑制の仕組み（フオートレス工法）

★フオートレス工法施工実績：23,232基（2018年3月まで累計）



既設下水道管耐震化の仕組み（既設人孔耐震化工法）



NIPPON HUME
Group

【将来に関する記述等について】

本資料は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

今後、実際の業績は、金融市場の動向、経済の状況、競合の状況や地価の変動の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【数値表記について】

百万円未満は切り捨てで表示しております。そのため、一部合計数値が一致しないところがございます。